

三重の

生きものだより

第33号



和名：ナベヅル
学名：Grus monacha
英名：Hooded Crane

この冬、珍しいお客さんが伊勢市の田んぼを訪れていた。シベリアなどで繁殖し、冬鳥として日本にやってくるナベヅルである。これまでも伊勢へは単独の飛来が希にあったようだが、今回は4羽が訪れた。私もこの鶴たちにお目にかかるかとウォッチングに出かけてみたのだが、長く白い首と赤色の額が何とも上品で、尾羽がもっさりとしたお尻は色っぽさを感じさせた。地元の人たちにも歓迎され、田んぼに餌(麦)をまいてもらっていたようだ。鶴たちは少し早めの春を感じ3月上旬に故郷へと飛び立ったようだが、次の冬も是非仲間を増やして伊勢の地を訪れてほしいものだ。

もしかすると、ナベヅルの新たな越冬地が、今生まれようとしているのかもしれない。ちょっと楽しみである。